

平成 2018 年 2 月 20 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 法政大学女子高等学校 鈴木恵子
2. 講師氏名: Ihssane ZOUIKR 博士 (Mr.)
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 2018 年 1 月 25 日 (木) 10:55 ~12:45
5. 参加生徒: 1年生 0人、2年生 27人、3年生 2人 (合計 29人)
備考: (例:理数科の生徒) 生物・化学・物理の選択科目履修生徒
6. 講演題目: The brain science
7. 講演概要:
講師の出身地の話 講師のキャリア 講師の研究に関すること
脳の全般的な機能など基礎的事項 研究には情熱が重要であること
マウスの脳の切片の顕微鏡観察で、「海馬」をみせてくれた
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演 脳の切片の顕微鏡観察
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
学内のバイリンガルの教員がところどころ翻訳に入った
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
なし
10. その他特筆すべき事項:
当校のバイリンガルの先生にとところどころ翻訳してもらい、内容の理解は深まった